



# 檜小だより

檜原学園檜原小学校



11月号

令和元(2019)年度

11月1日(金)

ホームページアドレス <http://rlco.jp/hinoharasyougakkou/>

## チャンスの時代

副校長 佐藤 栄太郎

先日の台風19号及び大雨に際しましては保護者の皆様、地域の皆様に児童の安全管理及び登下校に関して、様々な面でご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。前例のない気象状況が各地で起こる今日この頃です。児童の安全を第一に考え、今後の対応の仕方について関係機関とともに再構築を図ってまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

さて、日本人27人目のノーベル賞に吉野彰さんが選ばれました。リチウムイオン電池の開発が認められ、受賞しました。通常の乾電池と違い、軽くてパワーが強い上に、充電できる画期的な発明です。

吉野さんは、研究が成功する確率について、「研究を始めて、成功するまでの確率は、おそらく100万分の1くらいです。」とっていました。研究を成功させることは、まるで宝くじの1等賞を当てるような難しさだと思わされます。しかし、続けて次のようにしていました。

「100万分の1といったら、当たりくじを引くのも不可能だと思われるじゃないですか。そうじゃなくて、10分の1を6回かければ、100万分の1なのです。だから、10%（10分の1）の確率を確実に当てて、それを6回当てれば、結果的に100万分の1の宝くじを当てることになります。」

こう考えてみると、単に宝くじを当てるのとは違います。目指す道へのステップを6段階に分けて、その一つずつに挑戦していく。10%の確率ならば、十分に光が見えます。これはノーベル賞レベルでの話ですから、その他のチャレンジでは、もっと可能性が広がるはずですよ。

ところで、今回受賞したリチウムイオン電池の開発は、今から20年以上も前のことでした。それが今受賞した理由について、吉野さんは昨今の環境問題を挙げていました。近年続いている異常気象も、すでに異常というより通常とも思える頻度となっています。その原因とも言われる、化石燃料による地球温暖化等の環境問題の解決に向けて、リチウムイオン電池の蓄電力に大きな脚光が当てられているそうです。そうした中で、吉野さんは、若い世代に向けて次のようなことを言っていました。

「大きく世界は変わっていくと思います。それは時代の変化というか、地球環境問題だと思うのです。それはチャンスに恵まれているということです。これは必ず誰かが責任をもって解決しないといけないわけです。間違いなく、誰かが、これで全てが解決するという技術を見付けると思うのです。」

環境問題をピンチと捉えるか、チャンスと捉えるか。そうした思考の違いが、人生を大きく左右していくのだと感じました。例えば歴史を見ても、戦国の世などは非常に大変な時代であったわけですが、その中でも、それを乗り越えて、歴史に名を残す人物が登場しました。それぞれの時代を乗り切るために、今を「チャンスの時代」と捉えて進む力がいつの時代にも求められているのだと思います。

本校でも、少人数であることや地域と密着していることを最大のチャンスとし、真の少人数教育づくりを推進しています。専門性をもった講師から学ぶ体験学習は、体系化され「ふるさと檜原学習」としてカリキュラム化されてきました。一例を挙げると、この夏には多くのご協力をいただき、子供たちが育てたムラサキの販売学習まで行うことができました。それらは、いま学校現場に最も求められているものの中の一つであるキャリア教育にもつながっています。これからも、皆さんとともに、子供たちが問題をチャンスとして立ち向かっていける教育を推進していきます。

## 外国語担当から

10月の初めに、ムールンバーハイスクールの生徒との交流会がありました。自分が小学生だった頃には、学校の中で外国人の方と交流するという機会は全くといっていいほどありませんでした。しかし今は、檜原小学校に限らず多くの学校で外国人の方との国際交流が行われています。交流会の当日、子供たちは緊張した面持ちでした。しかし、クラスの児童に活動を振り返らせると、「習った英語の表現を使って質問をしたら答えが返ってきて嬉しかった。」という感想も聞こえてきました。「外国語を学ぶことで新しい世界が広がった。」そんな思いを檜原小の子供たちがもつことができるようになったら嬉しいなと、改めて感じました。

外国語担当 竹内 啓太

## 11月の生活目標

### 相手の気持ちを考えて 行動しよう!

相手の気持ちを考えるには、自分を相手の立場におきかえると分かりやすいと思います。

自分が言われたりされたりしていやだと思ふことは、他の人には言わないししない。そして、嬉しいと思ふことは、他の人にも言ったりしたりできるといいですね。さらに、相手の良いところを発見して、その行動を見習うことをしてもいいかもしれません。

季節は冬に向かって寒くなっていきますが、温かい気持ちをもって生活できるようにしていきます。

生活指導担当 新藤 智美

## 読書週間

9月30日(月)から10月11日(金)まで、今年度2回目の親子読書週間がありました。9月26日(木)の図書集会では、前期図書委員が委員会の新聞を紹介したり、おすすめ本を紹介したりしました。また、期間の後半では、後期図書委員会がおすすめ本を掲示したり、自分のおすすめ本を紹介するコーナーを設けたりしました。10月4日(金)には、檜原村立図書館の永田先生による「語り」を聞く機会もありました。昨年度に引き続き、ノーマディアの取組とともに行うことができました。

図書担当 小林 忍



## ♪西多摩郡公立小学校連合音楽会

日時：11月8日(金)

開場：13:05～ 開演13:25～

会場：秋川キララホール

今年度も本校は、2年生から6年生までの39名が参加します。今までの経験を生かし、ステージでの演奏を楽しみながら、歌声を響かせてほしいと願っています。

お子さんの衣装の準備など、ご協力いただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

なお音楽会当日は入場受付票(10月に配布済)が必要になります。忘れず会場にご持参ください。

音楽担当 奥山 美和



## 11月の行事予定

- 1日(金) 安全指導 図書館訪問(3・4年)  
生活科見学(1・2年) ロング遊び
- 5日(火) SC
- 6日(水) 避難訓練 委員会
- 7日(木) 児童集会(音)  
美しい日本語教室(1～4年)
- 8日(金) 連合音楽会(2～6年) 秋川キララホール
- 11日(月) 口腔チェック開始(22日まで)  
心理士
- 12日(火) 阪本小訪問(4年) 副籍交流 SC
- 13日(水) クラブ
- 14日(木) 児童集会(体)
- 15日(金) ロング遊び

- 18日(月) ユニセフ集会(企)  
オリ・パラ授業(給食後B時程)
- 19日(火) 英検(1～4年 5時間授業)  
ふれ合い給食(1・2年) SC
- 20日(水) クラブ 紫根染め(3年)
- 21日(木) ユニセフ募金① 児童集会(体)
- 22日(金) ユニセフ募金②  
グローバルゲートウェイ訪問(6年)
- 25日(月) 群読朝会 展覧会会場準備(4～6年)
- 26日(火) マラソン前検診 SC ヤマメ教室(3年)
- 28日(木) 社会科見学(5年)
- 29日(金) 展覧会① 児童鑑賞日
- 30日(土) マラソン大会(学校公開)  
展覧会② 保護者鑑賞日

